

不倒館2023年度特別展「創設者 世耕弘一 ドイツ留学100周年」記念講演

「世耕弘一のドイツ留学(1923—1927)とその歴史的意義」

令和5年10月17日(於:近畿大学アカデミックシアター ラーニングcommons)

近畿大学名誉教授・近畿大学広報室建学史料室特別研究員

博士(歴史学)

荒木康彦

はじめに

ベルリンに至る旅路

留学の地ベルリンにて

鉄道による帰国

結びに代えて

【講師プロフィール】



荒木康彦（あらかやすひこ）

近畿大学名誉教授・広報室建学史料室特別研究員

学位 博士（歴史学）

専門 近代日独交渉史

研究テーマ

日本人で最初のドイツ留学生は馬島（後に小松に改姓）済治であるという新説を提示し、国際的に承認された。戦間期の留学生についての研究の流れで、本学創設者の世耕弘一のドイツ留学の研究にも取り組んでいる。

著書 『近代日独交渉史研究序説—最初のドイツ大学日本人学生馬島済治とカール・レーマン—』（雄松堂出版 2003年）

『桂太郎と森鷗外』（山川書店 2012年）

『世耕弘一—人と時代—』（東信堂 2019年）

ほか